

## グループホーム暖らん

### 令和3年度 第3回 地域運営推進会議

今年度、第3回地域運営推進会議は対面での会議を予定していたが、出雲市でのコロナ感染確認が続いたため、急遽オンラインで行った。

令和3年度 第3回 地域運営推進会議資料

1.(本資料) 2.暖らん便り no.13

#### 出席者

出雲市介護相談員・塩冶地区福祉委員様

塩冶地区住民代表様

出雲市高齢者福祉課様

高齢者あんしん支援センター様

施設長、理事長、介護統括管理者

#### 1. ご利用状況

現在、9名の方にご入居いただいております(定員9名)、変更はありません。

※男性 1名、女性 8名 平均介護度 2 平均年齢 89歳

最年長者(94歳) 最年少者(83歳) 車椅子の方1名 歩行器の方4名

#### 2. 7月以降8月下旬までのご利用者の活動

※別紙「暖らん便り13号」を参照してください。

7月は七夕会やそうめん流し、8月は納涼祭など、季節に合わせた行事をしました。その他、行事以外にも、日常的に季節向けの創作活動や食レクなどの活動をしました。

また、外出レクとして海やひまわりを見に行くなどのドライブをしました。

#### 3. 面会制限について

ご家族様の面会を一時緩和していましたが、新型コロナウイルス変異株の感染者が出ている為、家族様の面会も再度制限いたしました。来所された際は、玄関から屋内には入らないようにしていただき、ガラス越しで面会していただくようにしています。その際、顔を合わせながら携帯電話で会話をいただいております。また、今後はzoomなどのオンライン面会をご希望者様にはさせていただきます。

#### 4. 認知症高齢者のケアについて

暖らんは、開所して約2年5カ月が経ちました。幸いにも、入居者様の変動はほぼなく同じ顔ぶれで生活していただいております。しかしながら、認知症の進行は高齢になるにつれて、全ご利用者様見受けられます。また、新型コロナウイルスの影響で家族様や外部との交流が困難であることも原因の一つではないかと思っております。暖らんでは、各居室担当職員(各ご利用者に担当職員を配置)を中心に定期的にケアカンファレンスを行っています。暖らん職員は、認知症ケアに対して、できるだけ薬物療法に頼らず日々のケアで認知症の進行を予防できるように努めています。現在、急激な進行が観られるご利用者様がおられます

が、身体機能の維持を優先しできるかぎり現在の生活が継続できるように支援しています。主治医や家族様と連携をし、必要に応じて専門医に診療していただくように支援していきます。今後も、認知症ケアに対して研修などを通して職員の知識・技術向上に努めていきます。

## 5. 病気の対応について

先日、ご入居者の方が脳梗塞と思われる症状が観られ、急遽救急外来に受診したところ軽度の脳梗塞と診断されました。幸いにも、早期発見で軽度な為、大きな後遺症が現在のところ観られません。(若干歩行障害は観られますが、麻痺等の症状はありません。)

暖らんは、看護師などの医療従事者は配置していませんので、各介護職員の気づきや判断が早期発見や大事に至らないことに繋がります。

今後は、より事業所内研修などの学習の機会を設け、全職員が脳梗塞などの大きな病気のサインを一早く見抜く事ができるように努めていきます。

## 6. 消防訓練について

先日(9/24)、今年度1回目の消防避難訓練を実施しました。半年前の訓練では、全ご入居者様が避難するのに約3分でした。今回は、2分39秒と時間を短縮することができました。

短縮できた理由として、前回は各居室者の避難後、最終確認として全居室を再度避難確認していました。今回は工夫をし最終確認をしませんでした。最終確認作業を省略したことが時間短縮に繋がりました。

→工夫した点・・・避難後、居室の表札を下に降ろして(外して)確認済みの印にしました。

※消防署の立ち合いを希望していましたが、新型コロナウイルス感染防止の為、立ち合いは中止しました。想定のみで実施。

## 7. その他

ご質問等があればお願いします。

ご意見……・オンライン面会の希望者は居られるか?→現在は2名と回答

・認知症ケアや病気の対応について良い取り組み意見を頂く

・一時帰宅は(コロナ禍で)していますか?→出来ていないが、個別の対応で自宅の周り等外出対応をしている。